

★安全・安心な生活と ICT 研究会 (ICTSSL)

専門委員長 中野敬介 副委員長 不破 泰・和田友孝
幹事 宮北和之・佐藤大輔

★情報ネットワーク研究会 (IN)

専門委員長 岸田卓治 副委員長 石田賢治
幹事 松本延孝・植田一暁・加島伸悟・持田誠一郎

★ネットワークソフトウェア研究会 (NWS) (第二種研究会)

◎本研究会は ICTSSL 研究会と IN 研究会の共催、NWS 研究会 (第二種) の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

◎IN 研究会は参加費が必要になります。

通ソの技報完全電子化研究会に関する御案内ページ

https://www.ieice.org/cs/jpn/kensen/special/e_gihou/e_gihou.html

日時 10月18日(木) 9:20~17:30

19日(金) 9:45~17:20

会場 高松商工会議所会館(高松市番町2-2-2, JR高松駅より徒歩10分, <http://www.takacci.or.jp/about/access.html>)

議題 ネットワーク信頼性技術, セキュリティ・プライバシー保護技術, 認証/ID管理, Webサービス/ SOA/ROA 基盤, ソーシャルネットワーク (SNS), サイバー攻撃対策, 災害対策・障害対策, レジリエンス, 及び一般

18日午前

1. NWS研究会(調整中)

18日午後

2. NWS研究会(調整中)

3. [招待講演](調整中)

4. [招待講演](調整中)

19日午前

ICTSSL-1. 複合災害対策システムの情報提示の汎用化 ○内山翔太・稲葉弘祐・水野 修(工学院大)

ICTSSL-2. 情報フローティングの継続時間に関する一考察 ○中野敬介・宮北和之(新潟大)

ICTSSL-3. グラフの Grundy Coloring に関するいくつかの結果について

○田村 裕・松本 峻(中大)・中野敬介(新潟大)

IN-4. DB更新負荷軽減のためのIoTデータ特性を考慮したメタデータ指向ネットワークアーキテクチャ

○伊藤智稀(名大)・片岡 操・野口博史・山登庸次(NTT)・村瀬 勉(名大)

IN-5. 車車間通信セキュリティとブロックチェーン 大西洋文(アルパイン米国リサーチ)

19日午後

6. [招待講演](調整中)

ICTSSL-7. 山岳登山者見守りシステムの開発と課題 ○不破 泰(信州大)・野口浩平・中村治彦・長曾我部嘉博(サーキットデザイン)・甘利大斗・アサノ デービッド(信州大)

ICTSSL-8. 平成30年7月豪雨時の救助要請ツイートに関する分析

○西川修史・田中希美・大高 凌・佐藤宏樹・近藤 恵・内田 理・宇津圭祐(東海大)

ICTSSL-9. 広域災害の発生直後における被害の概況把握に資する研究—平成30年7月西日本豪雨災害を事例として

— ○井ノ口宗成(富山大)・田村圭子(新潟大)・林 春男(防災科学技研)

10. NWS研究会(調整中)

◆ネットワークソフトウェア研究会併催

◎18日18:00~20:00, 懇親会を予定しております。

☆ICTSSL研究会今後の予定 []内発表申込締切日

2019年1月24日(木), 25日(金) 機械振興会館 [11月14日(水)] テーマ:学生セッション, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<https://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

宮北和之(新潟大) TEL [025] 262-7581

E-mail: miyakita@cais.niigata-u.ac.jp

☆IN 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

11月15日(木), 16日(金) 唐津市民交流プラザ〔締切済〕テーマ: アプリケーション指向ネットワークデザイン及び一般

12月13日(木), 14日(金) 広島大東千田未来創生センター〔未定〕テーマ: 性能評価とシミュレーション, 信頼性技術, スループットやトラヒックの計測, 品質(QoS)制御, ふくそう制御, トラヒック・フロー制御, オーバレイネットワーク・P2P, IPv6, マルチキャスト, ルーティング, DDoS 及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.

<https://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

松本延孝・植田一暁 (KDDI 総合研究所)

E-mail : in_ac-secretariat@mail.ieice.org

◎IN 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/in/jpn/>

◎なお, 原稿の締切日を過ぎますと技報への掲載ができなくなり, 原稿なしでの御発表となります. プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい.